

# かさおか

発行所

天理教笠岡大教会

かさおか編集掛

笠岡市用之江377

郵便番号714-0066

(0865)

電話 66-1311

FAX 66-1314



鶴山分教会神殿

(12月7日 撮影)

## さあ！おたすけ 祈る 動く つなぐ

おたすけ・お願いカード 集計：82,558枚

平成27年10月21日～11月20日

累計：1,448,033枚

一万人のおぢばがえり

集計：544人

累計：7,026人

平成27年 1月1日～11月20日

立教178年  
12月号

「有志  
ひのきしん隊」実施

青年会

青年会笠岡分会(上原明勇委員長)は、毎月恒例の有志ひのきしん隊を11月も実施した。

16日には府世原分教会に出動し、9人が参加した。この日は、教会前の道路脇に堆積した土や落ち葉などの除去を行った。木の根が張り巡らされている土の除去は、予想以上に手間取り汗を流しながらの作業となった。結果、100メートル程の道路脇がすっかり綺麗になり、車輛の往来がしやすくなった。



道路脇の整備

また18日には、旧弥高山分教会に出動した。朝から雨模様であったが、管理部と合同(青年会は3人)で旧神殿解体作業を行った。重機で解体する前の物品の搬出などを行い、旧神殿解体は滞りなく終了した。

海外伝道講習会 開催

海外部

11月21日、大教会の月次祭に合わせ海外伝道講習会を開催させて頂きました。例年は海外伝道に携わる外部からの先生をお呼びし、日々の信仰生活のヒントにして頂く趣旨で開催するのですが、今年は海外部の会議で、私が「タンザニアおたすけ活動の話をして、らどうか」という意見が出て来たので、お話を立たせて頂きました。

まず、笠岡に繋がる海外の教友や教勢の紹介をさせて頂いたとき、国内には関わらず、来年の教祖の年祭に40名近くの人達が海外から帰参する予定の連絡が入っている嬉しさを述べました。本題に入り、タンザニアおたすけ活

動に至るきっかけや行くまでの葛藤、行かせて頂いての状況、実際訪問して身を置いて私達よふぼくが経験した様々な文化や文明の違い等また、日本人の環境の有難さと問題、見せて頂くおさづけの不思議の世界とお道の信仰の喜び等を経験を交えて説明をさせて頂きました。

一度の訪問が10日余りで、今年で7年目に至り、毎年岡山広島教区からの衣料救援配布にをいがけ、路上での12下りのてをどり・お願いづとめ・孤児院・孤児たちの通う小・中・高校への訪問とよろづよ八首のおてふり・身上の人達への御供の手渡しとおさづけのお取次を主体に自分たちに出来るおたすけ、自分たちしかできないおたすけをさせて頂いています。

今年までに現地でおさづけをさせて頂いた人たちが900回を越え、神名を伝えお道の教理を話させて頂いた人達は1万人を超えましたが、目的である心の助けからいうとまだまだ微々たる歩みだと感じています。

7500人の孤児を抱えるNGOのリーダーでタンザニアのマユンガ医師との出会いと一言のにをいがけから始まったこの国への道も、タンザニア人

初の天理教よふぼくの誕生から現在11人の別席者と5人のよふぼくをお与えいただきました。人間思案では行ける所ではなく、出会いや周りの人達の後押し、関わる全ての人達が皆教祖のお導きだと感じるから、そして聞く話行く所など全て教祖がつけて下さった道だと感じるからこそ、これからも教祖にお凭れして信じてついて行かせて頂くだけと、関わる者達で誓い合っています。これからの展望として将来的には、現地のよふぼくが中心となって、おつとめとおさづけと教えを通して信仰の喜びを分かち合える拠点づくりを目標にしています。

教祖が立教のご宣言に「世界一列た



タンザニアへの海外伝道

「世界の中のすべての人間」の事です。世界だすけは本教の本旨ですが、それは海を越えて行く事だけの意味ではなく、この思いを持って日々をまず身近な所から実働することが結果として世界がたすかり治まっていく道だと思えます。

この度、この活動の話聞いて頂く機会を頂いたことを心から感謝して、皆さまのご理解とご協力、今までの募金や衣料等の救援物資などにお礼を申し、私も行ってみたい、こんなことも出来るんじゃないかという意見を頂く事を楽しみにお話を終わらせて頂きました。(海外部長 上原志郎)

「テッチャンシアター」開催  
11月月次祭後  
少年会

少年会笠岡団では11月21日(土)大教会祭典終了後、「テッチャンシアター」を開催させて頂きました。

今回の担当は少年会委員の藤本久美先生です。【おやさま】の絵本から書



「ぶどうの房」のお話し

き写した『ぶどうの房』というお話です。「世界はこのぶどうの様にみな丸い心で繋がりがあっていくのですヨ」とがった心でいると対立も争いも生まれてきます。まくるい心ー簡単な様で難しい時もありますネ。ぶどうを見たりに食べたりする時、「あつー！こんな話しを聞かせてもらったヨ」と。今も、大人になつてからでも思い出してもらえたらいいなあと思います。また「みちのこのうた」というCDより『ぶどうの房』という歌もみんなで歌い、お下がりのおやつを頂いて解散しました。今日はいつもより少ない人数の様でした。土曜日だったのにみんななどこに行ったのかな？今年最後の「テッ

チャンシアター」でした。また来年も待っています。皆さん、大教会へ来て下さいネ。  
(少年会委員 丸山哲子)

若人のつどい開催  
年祭活動推進委員会

11月23日、年祭活動推進委員会(田中隆之委員長)主催の「第3回若人のつどい」が、大教会で開催され、全ブロックより63人が受講した。年祭活動3年目にあたる今回は、受講者が希望したテーマを自ら学び、それを語りあう事を目的にプログラムが組まれた。受講者は、3つのコース(感謝・慎み・たすけあいコース、朝起き・正直・はたらきコース、おさづけコース)に分かれて受講した。

開講式の大教会長様挨拶に続いて、ウォーミングアップの時間がもたれ、肩たたきや、集合ゲームなどで緊張をほぐし、その後は、班毎でのグループタイムとなった。班毎のグループタイムでは、すぐろく形式の自己紹介が行われ、班員同士の緊張も更にほぐれ、



分科会でのねりあい

楽しいひとときを過ごした。

午後からは、「ようぼく成人講座」のスタイルで各コースのテーマ毎に進められた。テキストを読む時、自身の体験を話す時、講師の話をお聴き時など、さまざまにパターンから構成されているプログラムを熱心に取り組む姿が多く見られた。そして最後は、かさおかにつながる3人の若人が、日々コツコツと御教えを実践している姿を取材したDVDが上映された。

また、昼食と午後のティータイムには、婦人会手作りの豪華料理やスイーツが振る舞われ、受講者らは舌鼓を打った。

このつどいを通して受講者は、自身



ワンプレートランチタイム

の信仰を深めるきっかけを掴むと同時に、同じ笠岡につながる教友同士、年祭活動の更なる歩みを進める事を誓い合った。

広島平和公園で  
にをいがけ実施  
海外部

14、5年前のこと、広島平和公園近くにある某ホテルで知人の結婚披露宴に主賓として招かれた。その間、公園にある遊具で遊んでいればと幼い子供たちも連れて行った。しかし公園に遊具はなかった。「ここはお祈りをする

ところだから・・・」と尋ねた人に聞かされた。なるほど公園内には手を合わせ祈る場所が幾つもある。

年に2回行われている恒例の海外部「にをいがけ」が11月24日、広島平和公園で行われた。参加者は5人。大教会を午前8時に出発して10時過ぎに着。公園内でおちばの方に向かって「よろづよ八首」のてをどりをした後、2組に分かれて「英文パンフレット」を配布した。ドイツ・オーストラリア・カナダ・スウェーデン・アメリカ・フィンランド・ギリシャ・イタリア・フランス等々、今回もいろんな国の人たちが広島を訪れていた。彼らは日本の自然の



平和公園でのにをいがけ

美しさは勿論のこと、ゴミの少ない街の美しさに感動していた。今年は広島に原爆が投下されて70年。また訪れた数日前にはフランスで同時多発テロも起こった。宗教の布教伝道だとわかる

とパンフレットを拒む人もいたが、pray for the world peace. (私たちは世界平和のために祈念している)と言うと大方の人が快く受け取ってくれた。その定義がどうであれ「平和」を願わない人はいない。全部で28組。その中の一人でもタンザニアのようにぼく・マユンガさんのようにインターネットで「Teurikyo」と検索してお道の教えに興味をもってくれたらと思う。海外部の地道な活動はつづく。

(海外部員 吉岡 誠一郎)

かさおか  
「ビーチの会」発足

この度、大教会では各教会のようぼく子弟(独身男女)の婚活を支援する会を立ち上げました。

これは、昨今の社会現象ともいえる晩婚化が教会子弟にもおよんでおり、先の教会事情を防ぐためにもという思

いで発案を致しました。活動内容は

- 1、異性に対して消極的な男女へのサポートをする(研修など)。
- 2、独身男女の出会いの場を提供する(紹介、ふれあいパーティーなど)。
- 3、教会と連携してカップル誕生まで支援をする。

の三つです。

なお、本格的な活動は教祖130年祭から始まりますが現在では、各ブロックからの情熱ある先生方が毎月集まって具体的な内容を練り合っております。乞うご期待！



修養科を終えて

稲倉分教会 田中 文博

始めは、多くの不安を抱えてはじまった修養科でしたが、日々、周りの修養科生、先生方に支えられて、無事に終えることができました。私は、鳴物もおてふりも、全く初心者でしたが、修養科及び詰所での日々の修練によつ

て、どうか形になるようになりまし  
た。振り返ってみれば、日々、不  
思議なおたすけを受けながら、通った  
日々でした。残暑の厳しい季節から、  
冬が訪れる頃まで、毎日、充実した、  
内容の濃い、意義深い生活を送ること  
ができました。私は親族の身上、及び  
自分自身の身上から、今回の修養科を  
志願したのですが、修養科の期間中に、  
不思議な御守護を受けて、身上を救っ  
ていただきました。

修養科中、最も印象に残っているの  
は、11月に、他の組の修養科生の方の  
為に、全組で、東礼拝場にて、お願い  
づとめを行った後、その方が、集中治  
療室から、無事に修養科に復帰でき  
たことでした。本当に、不思議な御守護  
を目のあたりにし、あらためて、親神  
様の御守護を感じさせていだきまし  
た。

最後に、本当に感謝の気持ちでいっ  
ぱいです。修養科の先生方、教養掛の  
先生方、詰所の先生方、そして修養科  
生の皆様、今日、私が無事に修了でき  
たのは、皆様の温かい支援があったか  
らこそであり、毎日、親神様、御存命  
の教祖の御守護の中で充実した、修養  
科を送ることができました。本当にあ

りがとうございました。

## 修養科を終えて

高屋分教会 武内 ゆり

「なんでも喜ばしてもらいなさい。」  
修養科2ヶ月目、次々と身上を頂いて  
いた私に、担任の先生がかけて下さっ  
た言葉です。修養科3ヶ月通らせて頂  
いて沢山のことを感じ、学ばせて頂  
きました。

まず、身上を頂いて、改めて日々健  
康に過ごさせていただけるとの有り  
難さを実感しました。また、身上の中  
でも喜んで通ること、どのように喜ば  
してもらおうかを考えさせられました。  
私達のクラスには信仰が初代の方が  
多く、天理教に対する考え方など気付  
かされるのが沢山ありました。

「おそなえ」についてデイスカッシ  
ョンすることもあり、様々な事を考え  
直す修養科となりました。

3ヶ月間、無事に修了出来たことは、  
本当に有難いことであり、支えていた  
だいた方に感謝しています。修養科に  
行くことを勧めてくれた母親、3ヶ月  
生活を共にした笠岡の修養科生、教養  
掛の先生方、詰所の先生方、奥様方、

本当にありがとうございます。修養  
科を終えてからの生活が大切だと聞い  
ているので、しっかりと勇んで通らせ  
て頂こうと思います。

また私と同じように教会の娘である  
人々と話をする中で、教会生活がどれ  
だけ沢山の方々のお陰で成り立ってい  
るのかなど、改めて考える機会をいた  
できました。

## 3ヶ月を振り返って

福満分教会 福島 佐和

私は退職を機に、念願だった修養科  
へ行くことができました。私はとくに  
事情も身上もなく、教会長である父か  
らは、「困っている人を助けてあげな  
さい。」と言われ、面接の時も「あな  
たは人を助けるためにおおげに引き寄  
せられたのですよ。」と、1番組係の  
お役をいただきました。この3ヶ月間  
私は元気に通わせていただき、感謝の  
気持ちでいっぱいでした。親神様は、  
いんねんある者を引き寄せて守護をし  
て下さる。この修養科で出会った仲間  
に、様々の身上・事情を見せられた時、  
今までは自分に関係ないと思っていた  
ことも、自分にも同じようないんねん

があつて見せられている。私自身も  
もつと低い心で成人して通らなければ  
ならないことを教えてもらいました。  
自分の心の成人も人助けにつながるの  
だと思えます。また、仲間のことでと  
ても悲しい出来事があつた時、私は悲  
しくてずっと泣いていましたが、辛い  
時こそ明るく陽気に通るように。ずつ  
と悲しんでいても何にもならない。と  
先生からお言葉をいただきました。私  
以上に辛かつたであろう先生からのそ  
の言葉に、私は前向きに、笑顔になる  
ことができると共に、改めて天理教の  
教えの素晴らしさを実感させられまし  
た。

私はこの3ヶ月でどれだけ人を助け  
ることができたのか分かりませんが、  
様々な身上や事情があつて集まったク  
ラスの仲間も、日に日に笑顔が増えた  
り、周りのお年寄りのお世話をしてく  
れる姿を見たりして、嬉しく思い、逆  
に私自身とても陽気な気持ちにさせら  
れました。3ヶ月という短い時間でし  
たが素晴らしい出会いばかりで、感謝  
の気持ちしかありません。おおげでの  
貴重な経験を一生忘れず、これからも  
人のために明るく通っていきたくと思  
います。

# 笠岡大教会 年間行事 予定表

部会 月	婦人会	青年会	少年会	学生会 学生担当委員会
1	28 婦人会創立記念の日			
2				21 学生層育成者講習会
3	22・23 委員研修会			3~9 学修 大学の部 6~8 学修 高校卒業生コース 28 教祖130年祭 学生おちばがえり大会
4	19 婦人会本部第98回総会 (午前9:30)		30~1 鼓笛合宿 1 笠岡団おつとめまなび総会	24 おちば管内新入生歓迎会
5		29 ひのきしん団参	21 縦の伝道講習会	
6	4・5 こかん様に続く会 22 委員部長後継者講習会	1~24 おやさとふしん 青年会ひのきしん隊		
7				
8	28~12/18 婦人会第28回女子青年大会 (各地域)	15・16 あらきとうりょう入門塾 29~4 全分会布教推進週間	22~24 キャンプ (わかぎのつどいを含む)	9~15 学修 高校の部
9				
10		27 第92回天理教青年会総会		
11	6 婦人会第28回女子青年大会 (笠岡大教会会場)			
12		4 青年会笠岡分会総会		
備考	◎例会日(毎月3日) ◎直轄委員部長連絡会(21日) ◎ひまわり会(1日) ◎女子青年例会(随時) ◎大教会掃除ひのきしん (毎月19日)	◎有志ひのきしん隊(毎月随時)	◎教会おとまり会の実施 ◎テッチャンシアター (親子参拝) 2・3・5・7・8月の21日 祭典後	

# 立教 1 7 9 年(平成28年/2016年)

部会 月	全体行事 その他	ひのきしん	布 教 部	海 外 部
1	4~18 直轄教会春季大祭参拝 20 年頭会議 <b>年内 別席・ひのきしん団参</b>	25~27 教祖130年祭詰所受入		
2	2~15 部内巡教 28~29 修養科修了講習会	16~29 本部食堂(東ブロック)	25~26 教会長講習会(笠岡詰所)	
3	1 雅楽初心者講習会(大教会) 2~15 部内巡教			英文パンフレット配布
4		17~19 教祖ご誕生祭詰所受入	29 全教一斉ひのきしんデー	
5	4~18 直轄教会定期巡教 22 大教会長杯親睦スポーツ大会 28~29 修養科修了講習会	1~15 本部食堂(福山ブロック)		タンザニアおたすけ訪問
6	5・6 雅楽奉仕者講習会 (高屋分教会)			
7		16~31 本部食堂(西ブロック)		
8	26~5 こどもおちばがえり 28~29 修養科修了講習会	26~5 こどもおちばがえり詰所受入 前半：7/26昼~31昼 後半：7/31昼~8/5昼 6~20 直属ひのきしん特別隊 (島根ブロック)		7・8 英語講習会
9	<b>23 笠岡にをいがけ強調日</b>		1~30 布教推進強調月間 28~30 全教一斉にをいがけデー	
10	4~18 直轄教会秋季大祭参拝	1~15 本部食堂(上府ブロック) 25~26 秋季大祭詰所受入		
11	<b>23 若人のつどい</b> (大教会) 28~29 修養科修了講習会			英文パンフレット配布 21 海外伝道講習会 (月次祭に合わせて)
12	3・4 本部雅楽講習会参加(音研) 20 心定め提出 22 年末大掃除	1~20 直属ひのきしん特別隊 (高屋ブロック) 27 詰所餅搗		
備 考	◎部長会議 毎月29日 午前10:00 ◎役員会議 毎月29日 午後 1:00 ◎役員並びに直轄教会長会議 毎月29日 午後 2:00 ◎直轄教会長の集い 毎月20日 午後 2:00 ●雅楽会練習 毎月次祭前日夕勤後 舞楽練習 随 時	註：ブロックの区分けは 東：岡山県以東の直轄教会 とその部内教会 西：広島県以西の直轄教会 とその部内教会 上府：上下、府中市	◎おかえり講話 1月25日、10月25日 ◎笠岡にをいがけデー 毎月23日	◎月例勉強会(毎月21日) ◎『英文かさおか』発行 ◎海外よふばく月報

# 十一月月次祭祭文

これの笠岡大教会の神床にお鎮まり下さいます

親神天理王命の御前に 会長上原理一慎んで申し上げます

親神様の一列子供の陽気ぐらしを見たいとの御守護と世界一れつたすけたいとお導きにより 日々は結構に恙なく暮らさせて頂いております事は誠に有難く勿体ない極みでございます しかるに御守護の理が解らず当たり前に流され喜び感謝の心を失い 私利私欲に囚われ争いを起す人がいや増していきます事は誠に残念でなりません

私共は「かしまのかりもの」の御教えを常に心に湛え朝に夕にと御礼を申し上げると共に 一人でも多くの人に喜び感謝の心と一列兄弟として助け合いの大切さを伝えるべく にをいがけおたすけにとたすけ一条の御用の上に努め励まして頂いております

その中にも今日の吉日は月に一度の御祭日でございますので 只今からおつとめ奉仕人一同 日頃の喜び心たすけ心も一入に明るく陽気に勇んで坐りづとめてをどりをつとめて十一月の月次祭を執り行わせて頂きます 御前には日毎寒さ厳しくなり行く中も厭いませず今日の日を樂しみに寄り集いました道の子供達が 日頃の御高恩に改めて御礼申し上げると共にたすけの句たすかる句に当たり持ち寄りしました八万二千五百五十八枚のおたすけお願いカードにより一層のたすけ心を込めて 相共にお歌を唱和する皆の真実の状を御覽下さいまして 親神様にもお勇み下さいますようお願い申し上げます。

さて先月二十五日の眞明組による別席ひのきしん団参は誠に有難うございました。皆の声掛けの真実をお受け取り下さりおちばへとお引き寄せ下さいましたお陰により 一千名の心定めには達する事は出来ませんでした 千三百名程の帰参者を御守護頂きまして 晴天の御守護の元 共におつとめに別席にひのきしんにとつとめさせて頂く事が出来ました この上は来年の教祖百三十年祭に向け より一層にをいがけおたすけにと励ませて頂く所存でございます 又本日は祭典に引き続き海外伝道講習会を開催させて頂きます 教えを世界へとの思いの育成と国内布教の充実を図る所存でございます 更には又明後日には若人の集いを開催させて頂きます 教祖百三十年祭は元より 次の塚教祖百四十年祭を目指して実動できる人材の育成を図る所存でございます

何卒親神様には二ヶ月後の教祖百三十年祭に向け 教祖にお喜び頂きたい一心でたすけ一条に邁進する皆の誠真実の心をお受け取り下さいまして 万たすけの上に尚も自由の御守護を賜り 親心に触れ一列兄弟の理に目覚めて万互いに助け合う陽気づくめの世の状に 一日も早く立て替わりますよう御守護お導きの程を 一同と共に慎んでお願い申し上げます

## こころの詩

笠岡の教友が選ばれ掲載されていたもので転載いたします。(敬称略)

### ▼『天理時報』

▽12月6日付「時報歌壇」

・海松ヶ岡◎ 池田広子さん

かくれんぼの鬼から隠れ

夕焼の空を見ていた幼きあの日

▽12月13日付「時報俳壇」

・海松ヶ岡◎ 藤井光子さん

木の実落つ原節子さん逝きませり

### ▼『陽気』誌12月号「道柳」より転載。

▽佳 詠

・東悠◎ 田林美智子さん

神の縁二人三脚元氣道

### ▼表紙写真 鶴山分教会提供

## 大教会だより

### ◎第八九三期修養科

自 立教178年9月1日

至 立教178年11月27日

### \*教 養 掛

三ヶ月間 門 脇 元 教

(大教会役員・

島根分教会会長)

立教百七十八年十一月月次祭 祭典役割表

胡弓	三味線	琴	小鼓	すりがね	太鼓	拍子木	ちゃんぽん	笛	役割			講話	祭主		扨者		
									おつとめ	てをどり	区分		海外伝道講話	指図方	賛者	赤木素志	内海史郎
今川佐智子	上原順子	佐藤香苗	高木昭祥	笹尾正治	森本忠平	上原志郎	横山逸郎	岡崎真一	虫明好美	田中ますみ	大教会奥様	吉岡壽	上原繁道	大教会長様	三島	谷内伸自	大教会長様
門脇加津	谷内美知子	森本富美子	浅野明教	山田敏教	武内清明	山野弘実	吉岡誠一郎	佐藤真孝	高木孝子	岡崎豊子	武内正美	今川昌彦	谷内伸自	中村剛	森本忠善	中島誠治	佐藤道孝
笹尾一美	室悦子	岡崎和美	岡崎真一	虫明立生	渡邊隆夫	内海史郎	赤木素志	上原繁次	吉岡八恵	横山小智榮	内海安子	田中隆之	杉原博之	中村邦義	田林久嗣	中村道徳	中村剛

春季大祭講話  
大教会長様

◎直属ひのきしん

自 立教178年12月1日  
至 立教178年12月20日  
甲 井山田敏教

◎教人資格講習会修了者

立教178年12月11日終講  
品 治 渡邊雄大

\*修了者

輝美濃 谷内文義  
上下 原田真太朗  
稲倉 田中文弘  
高屋 武内ゆり  
福満 福島佐和  
芦品 小林奉江  
稲倉 林岡君江  
稲倉 森敬子

一ヶ月目 香取雅人 (川島郷分教長)  
二ヶ月目 枝廣隆文 (東福山分教長)  
三ヶ月目 豊田宏哉 (府中市分教長)



教祖130年祭に向かって今年最後の月となり、先月11日には広島教区総会がありました。837人の参加者でした。総会後のアトラクションで和太鼓の演奏があり、人気があり迫力がありました。そして次に景品が当たるくじ引きがあり、学生会で参加していた娘が、T支部が出していた10キロの米とまつたけ2本が当たりました。その米袋にはK分教会のM会長の住所と名前と電話番号まで記入してありました。当教会では毎年秋になると、叔父さん夫婦がこのK分教会のM会長より、30キロの米を買い御供して頂いています。不思議なご縁で同じお米が10キロ増えましたが、当たった娘はポカンとしていました。・・・すぐに、詰所でお世話になるY先生の奥さんが娘に、「H子ちゃん」が10月25日の眞明組の別席団参で初席の友達を連れて帰った「褒美だね。」とおっしゃいました。娘本人はどう受け止めたでしょうか。少しでも親神様からのご守護を感じてくれれば有り難い限りです。

(む)

昭和52年 (1977年) 立教140年	昭和52年 (1977年) 立教140年	昭和51年 (1976年) 立教139年
<p>3・21 大教会新機構発表</p> <p>鎮座祭：昭和五十三年五月四日 奉告祭：昭和五十三年五月五日</p> <p>常詔 淺野明男 岡本久則 岡崎幸逸 岸本敏明 武内清 神事 部長・岡崎幸逸 次長・今川昌弘 宮本友二 中島宇一 淺野和芳 岡崎輝夫 平井正 雄 飯尾保人 岡本久善 内海柱 中村剛 大平太郎 田林志計実 庶務 部長・藤井憲男 次長・虫明昌平 佐藤道孝 森本忠平 谷内伸自 岡本豊明 宮本泰 徳 秀平善敬 開地進 高島直道 会計 部長・岡本久則 次長・高田通昭 武内清 (袋) 国内布教 部長・武内清 次長・谷内信美 杉原正夫 中村英夫 中村剛 原田義徳 竹本勘 市 吉岡智三 笹尾正治 三代正道 海外伝道部長・岸本敏明 次長・田中一之 上原豊明 上原真雄 原田義徳 鳥越祥典 宮本泰 徳 吉岡孝彦 高木昭祥 三代温生 史料 部長・門脇誠教 次長・上原繁道 岡崎真澄 内海柱 岡崎和夫 管理 部長・岡崎真琴 次長・飯尾保人 河原節喜 三島材二 平井正雄 杉原正夫 三島克 巴 渡辺定夫 橋本正之 詰所 部長・今川昌夫 中村邦義 岡崎和夫 会長室 主任・高田通昭 内海柱 教會事情審議室 主任・岸本敏明 武内清 高田通昭 谷内信美 虫明昌平</p>	<p>2・26 照陽分教会建築模様替及神殿並附属建物増築 鎮座祭：五月十二日 奉告祭：五月十三日 2・26 照陽分教会遷座祭日(三月三日) 2・26 輝華分教会二代會長兼成一夫任命(初代会長兼成勘次郎昭和五十一年十一月二十五日出直) 2・26 西伯分教会神殿建築及附属建物増築</p>	<p>就任奉告祭：十二月五日 11・26 品治分教会三代會長渡邊真次任命(二代會長渡邊スミエ辞任) 就任奉告祭：昭和五十一年二月六日 11・30 教会長対象に第三回布教実修会開催(二月二日まで) 12・27 母屋ふしん 真柱様から御内語頂く この年、全直轄教会で布教実修会開催 教祖九十年祭の年であった。大教会の帰参者受け入れ係分担表、詰所受け入れひのきしん出動者、教祖九十年祭特別ひのきしん隊出動者、九十年祭帰参団体一覽などについては、「かきおか」第16巻第三号に、また全教の動きについては、同じく第三号に概略が記されているので、参照頂きたい。 この年の大教会年間統計 初席者六百三十七人 おさづけの理拝載者四百四十人 修養科修了者百六十三人 教人登録百三十八人 教人総数二千三百六十三人 よふぼく総数九千七百八十五人。全教よふぼく総数七十四万七千六百七十三人。</p>